

もとぶ議会だより



ハイサイ

第119号

令和元年10月1日
発行

本部半島国道449号・県道84号線 早期道路整備促進に関する要請



令和元年8月22日(沖縄県議会) ※要請決議の内容については、4Pに掲載

主な誌面紹介

令和元年6月定例会

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| ● 令和元年6月定例会審議案件一覧 ……………2 | ● 一般質問(6名) ……………6-11 |
| ● 線越明許費事業一覧及び要請決議内容 ……………3-4 | ● 研修及び要請行動 ……………12 |
| ● 一般質問一覧 ……………5 | ● 編集後記 ……………12 |

令和
元年

第2回本部町議会6月定例会審議案件一覧

議案番号	件名	議決年月日	議決の結果
報告第8号	平成30年度本部町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	令和元年6月11日	報告
報告第9号	専決処分の報告について(伊野波橋橋梁整備工事(A1橋台))	令和元年6月11日	報告
議案第15号	本部町指定金融機関の指定について	令和元年6月14日	原案可決
議案第16号	専決処分の承認を求めることについて (本部町税条例等の一部を改正する条例)	令和元年6月14日	原案可決
議案第17号	専決処分の承認を求めることについて (本部町固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例)	令和元年6月14日	原案可決
議案第18号	専決処分の承認を求めることについて (本部町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	令和元年6月14日	原案可決
議案第19号	本部町重度心身障害者(児)医療費助成に関する条例の一部を改正する 条例の制定について	令和元年6月14日	原案可決
議案第20号	本部町母子及び父子家庭等医療費助成に関する条例の一部を改正する 条例の制定について	令和元年6月14日	原案可決
報告第4号	もとぶ産農水産物消費拡大推進条例審査特別委員会委員長報告	令和元年6月14日	報告
議案第21号	もとぶ産農水産物消費拡大推進条例の制定について	令和元年6月14日	原案可決
議案第22号	令和元年度本部町一般会計補正予算について	令和元年6月14日	原案可決
議案第23号	本部町過疎地域自立促進計画の変更について	令和元年6月14日	原案可決
議案第24号	工事請負契約の締結について (瀬底島一周線道路改良工事(その2))	令和元年6月14日	原案可決
決議第1号	本部半島国道449号・県道84号線早期道路整備促進に関する要請決議	令和元年6月14日	原案可決
決議第2号	議員派遣の件	令和元年6月14日	原案可決

令和元年 第2回6月定例会にて報告

平成30年度本部町一般会計繰越明許費事業一覧

一般会計

(単位：千円)

事業名	金額	繰越要因
本部町会館雨よけ撤去作業	(3,186) 1,912	アーケード天井・軒先に含まれるアスベスト処理に時間を要するため繰越。 4月完了予定
プレミアム付商品券事業	(2,417) 2,369	昨年12月末の閣議決定により事業が決定し、支給事務システム構築に時間を要するため繰越。9月末完了予定。
もとぶ元気夕市活性化事業	(10,000) 9,428	建築確認の設計段階において、構造計算や資料準備等に不測の日数を要したため繰越。また、資材の供給不足により完了予定時期の変更。 7月末完了予定。
健堅本部落線道路改良事業	(65,903) 19,116	道路沿いにある電柱移転の調整に時間を要したため繰越。 6月末完了予定。
瀬底島一周線道路改築事業	(281,917) 272,200	実施設計業務等の実施にあたり、地元関係者との協議に時間を要したため繰越。令和2年3月末完了予定。
石川謝花線(石川・豊原区間)道路改築事業	(115,396) 110,330	実施設計業務等の実施にあたり、地元関係者との協議に時間を要したため繰越。令和2年3月末完了予定。
嘉津宇具志堅線道路改築事業	(113,048) 108,570	実施設計業務等の実施にあたり、地元関係者との協議に時間を要したため繰越。令和2年3月末完了予定。
満名川線道路整備事業	(104,920) 100,822	実施設計業務等の実施にあたり、地元関係者との協議に時間を要したため繰越。令和2年3月末完了予定。
伊野波本線(伊野波橋)道路改修事業	(87,304) 52,664	昨年11月に交付決定があり、事業着手が遅れたため年度内完了が困難となり繰越。5月末完了済。
橋梁等長寿命化点検調査業務	(4,510) 4,510	昨年11月に交付決定があり、事業着手が遅れたため年度内完了が困難となり繰越。5月末完了済。
新里第2団地新築整備事業	(28,230) 15,626	新里第2団地本体工事の完了が遅れたことにより、屋外付帯工事等の進捗に影響があり繰越。6月完了予定。
防災施設機能強化整備事業	(16,000) 4,800	避難路の整備面積について地権者との交渉に不測の日数を要し、実施設計完了が遅れたため繰越。令和2年2月末完了予定。
本部町立小学校ブロック塀対策事業	(106,730) 106,730	調査・設計業務を行った結果、多種多様なブロック塀が存在したことから、各種工法の選定に不測の日数を要したため繰越。12月末完了予定。
本部町立中学校ブロック塀対策事業	(62,738) 62,738	調査・設計業務を行った結果、多種多様なブロック塀が存在したことから、各種工法の選定に不測の日数を要したため繰越。12月末完了予定。
本部町立幼稚園空調整備事業	(16,876) 16,876	アスベストの含有分析調査に不測の日数を要し、調査測量業務に遅延が生じたため繰越。8月末完了予定。
合計	(1,019,175) (888,691)	—

※上段は()は全体事業 下段は繰越金額

原案可決

本部半島国道449号・県道84号線早期道路整備促進に関する要請決議

要請決議の内容

本部半島国道449号・県道84号線早期道路整備促進に関する要請決議

沖縄本島北部地域における道路整備は、住民福祉の向上や防災対策、産業振興を図る上での根幹をなすもので、活力ある地域社会の構築、広域的な交流ネットワークの形成を図るための重要な課題となっている。また近年の沖縄県への入域観光客数の増加は著しく、平成30年度の入域観光客数は999万人となり対前年比4.4%の増に達している。その中でも国営沖縄記念公園(海洋博覧会地区)を有する本部町へは平成30年度497万人と、多くの観光客が本町へと来訪している現状がうかがえる。

官民連携による国際クルーズ拠点港として多くの大型クルーズ客船の入港が期待されており「ひと・もの」の増加に伴い想定以上の町の変化が予想される。本島北部への交通機関が限られているなかで、多くの観光客はレンタカーや観光バス、タクシー等を利用する陸路での移動となり、近年の観光客の増加に伴う交通量の更なる増加に起因する本町へのアクセス道路、国道449号・県道84号線の交通混雑は、北部地域のリーディング産業である観光業だけでなく、その地域で生活する住民生活や社会経済活動への大きなマイナス要因となりうる。また災害時における緊急車両の通行を妨げる要因にもなりうる混雑解消のためにも国道449号・県道84号線の早期道路整備の促進を強く要請する。

以上、決議する。

令和元年6月14日

沖縄県本部町議会

宛先 沖縄県知事、沖縄県議会議長 宛

令和
元年

6月定例会一般質問

	質問者	質問事項
1	喜納政樹	1. 交通安全対策について
2	小橋川 健	1. クルーズ船受け入れに対する進捗状況について 2. 本町の防災対策について
3	伊良波 勤	1. 田空ハーソー公園について 2. 高齢者の方々への買い物支援について
4	崎浜秀昭	1. AED設置について 2. 本部港の監視カメラ設置について 3. 小中学校の卒業式、入学式での国歌斉唱について
5	仲宗根 須磨子	1. 本部港(塩川港)の使用に関する問題について 2. 天然記念物塩川の保全について
6	具志堅 正 英	1. 本部町フクギ集落整備事業について

※議会だよりに掲載されている一般質問の内容は、各議員が会議録に基づいて要約したものを掲載しております。

議会傍聴へ行こう!!

本部町議会は3月、6月、9月、12月と年4回の定例議会が開催されます。
町民多くの方がご来場いただき、傍聴くださいますようお願いいたします。

交通安全対策



一般質問

喜納 政樹 議員

喜納議員 一、町道山川北里線と町道十六号線の交差点での人身事故、物件事故が近年多発しており何らかの対策が必要かと考えるが当局の見解を伺います。

町長 町道山川北里線と町道十六号線の交差点の交通事故対策でございますけれども、当交差点については本部署に確認したところ、平成二十九年、平成三十年の二か年間の事故の発生件数は車両同士の接触による物件事故が三件起こっております。車両同士の接触による、いわゆる人身事故が三件発生しております。また、今年に入ってから五月三十一日までの間でも、いずれも車両同士の物件事故が二件、人身事故が一件発生している状

況にございます。本町といたしましては、これまで当交差点において平成二十七年に道路反射鏡の設置及び一時停止を目立たせる路面標示の設置をとってきたところでございます。今回、さらに本部警察署と協議をいたしまして、五月に車両分離票、いわゆるポールコーンについて十四基、そこに設置してございます。交通事故の発生を抑制する対策をこのような形で、とってきたところでありまして、また、今月に入りましては本部警察署と本都地区交通安全協会が当交差点に多言語対応の注意喚起の看板を設置したところでありまして、今後も引き続き本部警察署並びに地域、関係機関と連携し交通安全対策に鋭意取り組んでまいりたいと考えております。

喜納議員 今後、あの地域は、人口が増えるし観光客が増える。そうなった時の予防策として、やはりしっかりと対応をしないかなければいけない。当局も、しっかりと把握して頂いて、できる予防は地域の皆さんや区長さんを中心に声を聞いて、しっかりとやって頂きたいと思っております。この件に関しての町長の見解を伺います。

町長 総合的に専門家の警察の交通の部門とも十分に知恵をかり、そしてアイデアを頂きながら対応していきたいと思っております。当然ですけれども、この場所だけではなく生活道路のあらゆる道路の中に観光客が入り込んで行くと言うような時代に差し掛かっておりますので、町全体にどのような形で、特にインバウンド、外国人対策についてどうするかと言う事等について焦点を当てながら対応していきたいと考えております。

喜納議員 二、本部小学校周辺では登校時において児童生徒の送り迎えの車の往来がかなり、特に小学校校門前では駐車車の車両で通行に支障をきたす状況がおきており車両間の接触事故、人身事故が起きかねない状況にあります。児童生徒が通行する通学路の安全確保の面からも早急に対応が必要ではないかと考えるが、当局の見解を伺います。

教育長 まずは、児童生徒の登校時間にあわせて各学校区域の老人会や警防団などによる通学路の安全確保などの活動に対しまして感謝を申し上げたいと思っております。

それでは、本部小学校周辺における通学路の安全確保についてのご質問にお答えいたします。登校時に親が児童生徒を学校に送る際にかなりの車両の往来による危険性について学校管理者からも相談を受けており状況を把握しております。車両間の接触事故や人身事故など起こらないよう安全対策などについて、学校管理者と協議を行っていきたくと考えております。

喜納議員 具体的に、どのように進めるのか教育委員会としては、どのようにお考えですか。

教育委員会事務局長 以前から学校の方からも相談を受けておりまして、施設内の一部を利用して、利用するよう方向を教育委員会としては、ひとつ持っているところでもあります。場所的に職員駐車場、幼稚園前の職員駐車場が一つ、あとは伊野波側の体育館の駐車場、学校施設内には広い施設がありますので、そこを教育委員会としては学校側にも提案させて頂き安全等も含めて協議していきたく考えているところであります。

1. クルーズ船受け入れに対する進捗状況は

2. 本町の防災対策は



一般質問
小橋川 健 議員

小橋川議員 一、クルーズ船受け入れに対する進捗状況について伺います。

町長 ハード面については、バースやターミナルは当初の予定通り完成するのかもしれないという質問要旨でございました。岸壁の整備は県が行い、当初計画では令和二年四月に供用開始の予定でございました。しかし、岸壁整備の進捗状況や県と船社との間で交わされる覚書の締結、県と船社との協定、この調整が現在遅れている状況でございます。

小橋川議員 マスコミ報道では、当初県としては、岸壁の整備に二十一億五千万円計上していたものが、本年度はほぼ半額の十一億四千万円、十億一千万円減という報道がありました。ま

た一方で、クルーズ船会社との交渉が進めば、補正で予算を追加することも視野に入れているという報道もありました。現状その問題に関して国や県から説明があればお話し頂きたい。

企画商工観光課長 今年度の予算の減額の理由として、船社の方で十二月に本部港からの撤退を示唆したという事で、国がターミナル建設の目処が立っていないことを理由に減額になっていきます。それを受けて、県が二月に船社の方に向いて、撤退しない意志を確認しております。また、九月に向けて船社と県との協定を今詰めている状況であります。

小橋川議員 このクルーズ船事業は、本町だけでなく北部全体、周りの市町村も大変期待しており、沖縄担当相も北部の重要事業だという位置づけをして頂いているものなので、県に発破をかけて、北部全体の活性化の為に早めに課題をクリア

して、なるべく早く供用開始ができるような形で進めて頂けるよう要請します。次に、今、物凄い数の外国人観光客が我が沖縄県本部町にも入って来る中で、メインの中国人観光客は、キャッシュレス化が進む現金を持たない方たちです。そういう中で本町が、商売をする為にはキャッシュレス化を進めていかないと、ビジネスチャンス

を逃がすと思います。本町においてもキャッシュレス化を進めるにあたって、機械を導入するコストなど課題は多いと思いますが、国をしても施策として、キャッシュレス化を進めたいという考えがあり、様々なメニューがあると思いますので、観光立町本部町としては、県で一番の先進地となるべく積極的にそういう事業に参画して頂きたいと考えます。

町長 いち早く国の事業、国庫補助事業を活用しまして、商工会、観光協会を通して小売

りの業者と連携しながら、そういう仕組みを整備していきたいと考えております。

小橋川議員 二、本町の防災対策について、特に冠水対策についてお伺いします。学校施設や保育施設の周りは、通学の児童や送り迎えの保護者の行き来もあり、冠水対策を優先的に実施する必要性があると考えますが、当局の見解を求めます。

教育委員会事務局長 瀬底小学校の裏手は大分冠水し、給食センターの配送車が一時止まりました。それを建設課方で対応して頂き、通行が何不自由なく可能になったという事もありました。他の課と連携して、学校・保育施設周辺でそういう情報があれば、早めに整備ができるよう連携して対応していきたいと思っております。

小橋川議員 行政として大雨や台風の後、町内パトロールを実施していますが、他に試み

ている事があればお答え下さい。

総務課長 台風や大雨の際、準備体制等基準がありまして、それに沿って役場庁舎の中で段階に応じて警戒対策体制、或いは災害の準備態勢、災害対策本部と段階的にとっております。学校現場、その他の施設につきましては、管理者の方から各所管します課の方に被害の状況を報告するようになっておりますので、今行っている体制をそのまま維持して体制の強化に努めて参ります。

小橋川議員 対策に関してはハードの物資の面だけではなく、ソフトの面からも本町も独自の老人の方が増えている現状もありますので、区長さんなどを中心に避難等が必要の際には、声掛けなどができるようなシステムの構築も考えていかないと、いけない課題です。ので、努めて対応して頂きたいと要望します。

1. 田空ハーソー公園

2. 高齢者の方々への買い物支援



一般質問

伊良波 勤 議員

伊良波議員 一、田空ハーソー公園について、年々イベント等がふえ盛り上がっていると思いますが、さらに盛り上げるため、町としてどのように考えるか。

町長 田空の駅ハーソー公園は、本部町具志堅地区田園空間施設として、昔ながらの農村風景の保存継承を目的に、平成二十二年七月にその供用が開始されております。湧き水が豊富な大川を中心に在来種の植物に囲まれ、癒やしの空間を演出し、ヤギなどの生き物と触れ合える施設として、多くの方々にご利用いただいております。本施設は、現在、もとぶバイオマス事業協同組合が指定管理を受け、年間を通して各種イベントを企画し、旬の農産物、植物を

テーマにリユウキウウベンケイソウの鮮やかな花を使ったブーケづくりや、ヤギの乳しぼり体験など、体験型観光施設として親しまれております。今後とも本施設の指定管理者、関係団体と連携し、具志堅地域の特徴である山・川・海の自然豊かな環境を生かした施設活用を十分に検討し、魅力ある空間を創出していきたくと考えております。

伊良波議員 二、高齢者の方々への買い物支援について、私これは、平成二十九年六月にも質問をさせていただきました。そのときの質問は、今反省しているんですが、非常に未熟で、ただ単に支援できないかということだけでこれまでお話をさせていただきまして、質問したことに對して、私も責任がありますので、気になりながら地域の高齢の方々にお話を聞きました。それぞれ一人一人ニーズがいろいろあって、物すごい数が

あるんです。きょうもここで買い物支援、町がどのように支援できるかという質問ですけれども、まず一回これを町内全体、区長、公民館を中心に、本當にどのようなニーズがあるかという調査ができないかと思っておりますが、そこら辺はいかがですか。

福祉課長 地域地域によつては、地域のボランティアの方々がその買い物に不自由な方々に対して買い物支援などを行っているのが現状であります。先ほどのようなニーズがあるのかということでございます。今、まちの取り組みとして、少し事業をおこして取り組もうとしていることがありまして、国の小さな拠点づくり支援事業というのがございます。これは沖繩県が実施するものでありますけれども、詳しくは企画商工観光課で対応しておりますが、その中でいろんなヒアリングなどを予定しているということを

聞いております。詳しくは、企画商工観光課長から内容を確認できると思います。

企画商工観光課長 今、福祉課長からもありました小さな拠点づくり支援事業ということで、平成三十一年から三十三年までの事業であります。これは一定の生活サービスを集約する小さな拠点づくりネットワークを構築しようということ、これは離島や過疎地域の事業ということ、県のほうが行っている事業であります。今回その事業に手を挙げまして、二年かけてやろうかということでありまして。一年目にちよつとした地域の将来像を立てながらワークショップ、あと住民の意見を汲みながら、この一年は、今年度はやって。二年目に、それを踏まえてどういうものが必要なのか、移動車が必要なのか、その辺を今後、各地域と一緒にやっていきたいと思っております。

拠点、ぜひこれを進めていただきたいと思っております。きちんと、どのようなニーズがあるのか、どのような点で困っているのかというのをきめ細かに調べていただいて、ぜひこの事業を本當に高齢者の方々にとつてありがたいものになっていただければと思っております。ぜひこの事業をいい形で成功させるために、町長最後に答弁をお願いします。

町長 限られた財政の中で対応ですので、今回の国が持つ事業をしっかりと手に入れて、そしてまずは具志堅区を拠点にして、ひとつのモデルを形成しながら、また議員のほうにもご協力いただいで、ぜひ買い物の手助けができるような、子どもからお年寄りまで心豊かに過ごせるような、自分たちのまちをつくり上げていきたいと考えております。

伊良波議員 小さな

1.AED設置

2.本部港の監視カメラ

3.小中学校の卒業式、入学式での国歌斉唱



一般質問

崎浜 秀昭 議員

崎浜議員 水納島旅客待合室、伊江島旅客待合室、崎本部緑地帯の三ヶ所にAEDの設置がされていない。観光立町として如何なものか。観光客の命を守る救命器具AEDの早急な設置を検討できないか。

町長 本部港の港湾施設の整備、維持管理者は沖繩県にあります。このことから、県に要望してきましたところでございます。昨今の水難事故の発生や観光客の増加に鑑みて、AEDの設置は本部町といたしましては急務であると考えております。早急の設置に向けて、引き続き県のほうに要請していきたいと考えております。

崎浜議員 県に要請しているということですが、

が、いつ頃から要請したのですか。

建設課長 AEDについては平成二十四年から、行っています。

崎浜議員 約七年になりますか。町として観光立町ということを標榜しておりますから、やはり観光客の皆様がそういった目にあつたときに命を助けてやるといふ、思いやりがあつてしかるべきだと思いますが、それを県が設置してくれないから、ずっと延び延びになつていくということでは如何なものかと思つます。今一度、当局の思いを聞かせて下さい。

建設課長 まずは私のほうから北部土木事務所に強く要請したいと思つます。それでも動かないようでしたら、町長と県港湾課に行き、強く要請していきたいと思つています。

崎浜議員 本日に頑張つていただきたいと思つます。これは緊急性を要するもので、県ができなかったら町で

なんとかやるぐらいの気持ちで、ぜひとも今年いっぱい設置していただけるよう、強く要望したいのですが、いかがでしょうか。

建設課長 先ほど言つた通り、町長と一緒に強く要望していきたいと思つます。

崎浜議員 次に、本部港の監視カメラの設置について伺います。

町長 以前から沖繩県に強く要望してきました。今後の本部港の在り方を考えた場合、設置は必要なものと考えつています。引き続き粘り強く県に要請し、設置できるように鋭意努力していきたいと考えています。

崎浜議員 次に、小中学校の卒業式、入学式の時に国歌斉唱がなされていない。学習指導要領に謳われていると思つますが、なぜ斉唱しないのか、国歌斉唱とのギャップがあり不自然ではないでしょうか。

教育長 学習指導要領

でも国歌君が代についての指導するよう示されております。国家君が代は校歌に比べて歌う回数が少ないのと、厳粛な態度で式に臨むよう指導されていることから、校歌よりも小さな声で歌っているのが現状であります。

崎浜議員 教育長、斉唱という意味をお分かりだと思つますが、説明をお願いします。

教育長 斉唱というのが、みんなと一緒に歌うことだと思つますが、町歌や校歌みたいに大きな声で歌うような歌い方はあまりふさわしくないかなと、私も歌いはしませんが、私も静かに歌つている感じであります。

崎浜議員 静かに歌つているということですが、私たちが日本人というのと同じように、やはり私たちが日本人というの、オリンピックとかで優勝した時に、国旗が揚がり、国歌が斉唱されているのを見たとき、やはりうれしいも

のです。そこに日本人としての誇りを感じ、若い子たちが後に続けと頑張つて行くと思うのです。もつともつと子どもたちに自信と希望を与えるためにも、国歌というものは堂々と斉唱していただきたいと思つますが、それを学校現場に一言、教育長から意見としてお話しできないでしょうか。

教育長 学校のほうにも、これまで同様にしっかりと指導をしていただきたいと思つますが、けれども、大きな声で歌えるように、学校のほうには指導していただきたいと考えています。

崎浜議員 分かりました。日本は「和をもつてと貴しとなす」という信念が長い間続いています。日本は素晴らしい国だと思つます。自分の国に自信と誇りを持つことは大事なことです。国歌が大きな声で歌われる日が一日も早く来ることを願つています。

本部港(塩川港)の 利用に関する問題



一般質問

仲宗根 須磨子議員

仲宗根議員 五月

二十一日の塩川港の使用状況について説明する。午前七時二十分からトラックの搬入が始まり、警備員が百人ほど、防衛局職員が五十人ほど、それに機動隊員も加わって二百人程度の異常な警備状況だった。(町民六人、ピーク時でも三十人程度)緑色のフェンスでバリケードをつくり、さらに防衛局職員らが長い網をしていた。全港湾の方々も飛んで来ていたが、こんな使われ方は絶対に許されるものではないとびっくりしていた。

岸壁使用許可と荷捌き地使用許可は本部町に移譲されている。こ

の荷捌き地の異常な使用に関して本部町としての見解を伺う。

建設課長 本町としては沖縄県港湾条例に基づき対応しています。町長からも答弁のあった通り、荷捌き地の範囲を超えたフェンス等の使用については、沖縄県の権限の範囲内で判断されるべきものと認識しています。

仲宗根議員 こういう事が起こるたびに、これは本部町の範囲内ではないと言う。町民はまた県庁まで出向くわけです。県庁の港湾課に行くところは本部町に移譲しているからとたらい回しにされる。何度も行ったり来たりで何の進展もなく町民側もほとんど困り果てている。どこに行けばいいのか。

副町長 本部町と県の間では、何回も話し合いを持ってお互いの役割

割というのは明確に分けて分担しているというのの確認していません。本町は権限移譲された以外の部分については口出しできないという事です。

仲宗根議員 港湾管理条例の第四条に「知事は港湾施設の保全又は機能の確保のため必要があると認めるときには、その施設の使用を禁止し又は制限することができ」とあります。本部町に移譲されている分に関しては本部町長にそういう権利が生じるのではないか。

副町長 例えば荷捌き場とか港湾施設にいろんなトラックとか待機するためにかくさん入ってきて、そこを占有してしまつて他の利用者が使えないというような状況が起きてくる場合は、それは機能が確保されていない状

況だと捉えてもいいと思います。そういう時は他の利用者が使えるような状況を保ちなさいと町の方から指導することが出来ます。

仲宗根議員 毎月、塩川港に関する情報公開請求をしているが、六月分から辺野古への搬出の運搬船が十隻ふえて合計二十四隻になつている。その理由を伺う。

建設課長 申請してきたものは受付したという事です。

仲宗根議員 辺野古への搬出に関しては、四月二十五日に一回だけ、五月も五月二十一日と二十四日の二回だけ。実績がこれだけにしかかわらず六月分は二十四隻も使用許可を出す必要があるのか。

建設課長 四月、五月の実績は確かに一日とか二日だったと思いません。六月についてはそ

れだけの使い方をするといいという説明があったので許可をしたということです。

町長 塩川港は県の管理する港湾であり、この利活用における最高の意志決定者は玉城デニー県知事だと思つう。

仲宗根議員 塩川港の岸壁使用許可料、荷捌き地使用料は、

建設課長 岸壁の使用料等は、全部県のほうに納入されます。



本部町フクギ集落整備事業は どうなっているか



一般質問

具志堅 正英議員

町長 本部町フクギ集落整備事業は、フクギ並木を今後の観光振興につなげることを目的として、平成二十五年から平成二十九年にかけて実施いたしております。集落景観の維持、保全を推進するため、基本構想、計画の策定、フクギの剪定、散策道路の整備、案内板の設置を実施してきたものです。

具志堅議員 事業は終了しておりますが、計画の中心的な事業であります町道十六号線の整備が全く手をつけられておりません。この件に関して、町は地域の住民と話し合いをしながら残った計画を進めるといいましたので、ぜひ今年度はこの事業に着手できないのか答弁を求めます。

建設課長 現在、通常の道路事業としては沖繩振興公共投資交付金、いわゆるハード交付金がございますが、各補助金の動向を注視し、町全体として整備計画を調整していたところでございます。

具志堅議員 町全体の事業のバランスをとって、今できない状態ということですが、当初計画したことをやらないで、このまま事業計画がなくなるのか。いつ頃にやらなくても距離を決めて、何年かかけてやるような方法というのはないのか。

建設課長 近年、全市町村で配分額が減少している状況であります。各補助金の動向を注視しながら町全体として、整備計画を調整しているところでございます。

具志堅議員 当初、備瀬区での説明会では、この十六号線の整備計画は最初に備瀬区からやってくれと。それ

で町もフクギ集落整備事業に着手したはずですが。もうあれから三年になります。

副町長 やはり予算がない、事業メニューがないとどうしようもないです。やはり整備する必要というのはおきます。どの事業でできるのか、どのタイミングで予算がとれるのか、何年、いつできるかは約束できませんけれども、タイミングを見計らって、できるときにはその計画をのせたいと思います。

具志堅議員 役場が住民説明会まで開いてやりますよといったものが、この十六号線の整備だけが残っていると、町民も地域の住民も、それから今は観光客がいっぱい押し寄せていますし、このまま予算がない、補助メニューが見つからないと放っておくと余計本部町の印象も悪くなるし、フクギ並木のイ

メージダウンにもなるし、もう少し早目に危機感を持ってやったほうがいいんじゃないかと思えます。一旦、住民と約束をしてできないということでしたら、町の信頼も失われますし、住民の協力も得られないんじゃないかと思えます。その辺はいかがですか。

建設課長 このフクギ集落整備事業は一括交付金でできると説明会でやったと思うんですけども、この町道十六号線はほかの事業でできるだろうと、今、この事業があてはまるものを探しているというところでございます。

具志堅議員 ですから距離を決めて、いつペんにじゃなくてもいいから段階的にやる方法はないんですか。

建設課長 単年度とか距離を短くとか、そういうものは事業としては難しいので、補助事業でやっていこうと考

えております。

具志堅議員 補助事業が見つからない、町単費ではできない、どういうふうにしたらできるか、できる方法で考えを進めてもらいたいと思います。

総務課長 今、決してこの事業をやらなれないというわけはありません。健堅本部落線のハード交付金がございますので、そちらのほうでエントリーするのが最善の方策だと考えます。

具志堅議員 ハード交付金で町道十六号線の補助メニューを作りたいという、それはいつごろになりますか。三年後ぐらいですか。

建設課長 三年から五年かと考えております。

具志堅議員 この三年から五年の間に、この町道十六号線の周囲で不測の事態がないことを祈るだけです。以上です。

北部市町村議会議員・事務局職員研修会

令和元年7月8日、北部市町村議会議員・事務局職員研修会が宜野座村で行われました。研修会では、日本体育大学学長の具志堅幸司氏による「エンジョイスポーツー私と体操ー」の講演が行われました。



本部半島国道449号・県道84号線早期道路整備促進に関する要請

令和元年第2回本部町議会定例会において可決されました、「本部半島国道449号・県道84号線早期道路整備促進に関する要請決議」について、本部町議会は行政当局と共に令和元年8月22日、沖縄県議会、新里米吉議長及び、沖縄県土木建築部、上原国定部長を訪ね、整備が遅れている国道449号と県道84号名護本部線の早期事業の完了の要請を行いました。



沖縄県議会



沖縄県土木建築部

編集後記

まだまだ残暑が続く中、本部町民の皆様いかがお過ごしでしょうか。体調には十分に注意され、又熱中症対策に万全を期されますようお願いいたします。

さて、議会では多くの審議、本町においてもたくさん課題があります。一つ一つ丁寧に進めたいと思います。

議員一同全力投球してまいります。

今後とも本部町議会広報誌ハイサイを宜しくお願いたします。

議会広報委員

伊良波 勤

もとぶ議会だより

ハイサイ 第119号

発行 本部町議会

編集 本部町議会広報

調査特別委員会